

(別添3)

平成18年11月

病院長に対する基本事項に関する調査

回答者：病院長

1. 患者分類に対する評価について

(1) 慢性期入院医療の包括評価調査分科会では、医療の必要性による区分、ADLの状況による区分および認知機能障害加算有無に基づく11分類の患者分類手法を開発しました。同分類の妥当性について、総合的にどのように評価しますか。最も近いもの1つに○をつけてください。なお、本質問は、中医協において決定した入院基本料A-Eの分類、および同分類に対応して設定された点数に対する評価ではなく、患者分類(11分類)についての評価であることにご留意ください。

- 1. 妥当である
- 2. おおむね妥当である
- 3. どちらとも言えない
- 4. やや不適當である
- 5. 不適當である

→ (2) 「4. やや不適當である」、「5. 不適當である」と回答した方にお伺いします。その理由を具体的にご記入ください。

2. 医療区分に対する評価について

(1) 患者分類の「医療区分」を分類するための下記の項目(1~39)のうち、不適切なものの番号に×をつけてください。また、×をつけた項目についてその理由として「1. 項目として適当でない」、「2. 条件・表現が適切でない」のいずれか1つに○をつけ、その具体的な理由をカッコ内に記入してください。

<医療区分3> 疾患・状態

1	スモン	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
2	医師及び看護師による24時間体制での監視・管理を要する状態	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()

<医療区分3> 医療処置

3	中心静脈栄養(消化管異常、悪性腫瘍等による消化管からの栄養摂取が困難な場合)	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
4	24時間持続点滴	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
5	レスピレーター使用	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
6	ドレーン法・胸腹腔洗浄	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
7	発熱を伴う場合の気管切開、気管内挿管のケア	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
8	酸素療法(安静時、睡眠時、運動負荷いずれかでSaO ₂ 90%以下)	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
9	感染隔離室におけるケア	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()

<医療区分2> 疾患・状態

10	筋ジストロフィー	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
11	多発性硬化症	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
12	筋萎縮性側索硬化症	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
13	パーキンソン病関連疾患 (パーキンソン病についてはヤールの分類Ⅲ、日常生活障害Ⅱ度以上)	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
14	その他神経難病(スモンを除く)	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
15	神経難病以外の難病	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
16	脊髄損傷(四肢麻痺がみられる状態)	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
17	肺気腫/慢性閉塞性肺疾患(COPD)(Hugh Jones V度の状態)	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
18	疼痛コントロールが必要な悪性腫瘍	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
19	肺炎	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
20	尿路感染症(「発熱」、「細菌尿」、「白血球尿(>10/HPF)」の全てに該当する場合)	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
21	創感染	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
22	リハビリテーションが必要な疾患が発症してから30日以内	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
23	脱水(舌の乾燥、皮膚の乾燥の両方ともみられるもの)	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
24	体内出血(持続するもの(例)「黒色便」、「コーヒー残渣様嘔吐」、「喀血」、「痔核を除く持続性の便潜血陽性」)	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
25	頻回の嘔吐(1日1回以上を7日間のうち3日以上)	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
26	褥瘡(2度以上又は2箇所以上)	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
27	うっ血性潰瘍(末梢循環障害による下肢末端の開放創:2度以上)	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()

28	せん妄の兆候 ^{注1}	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
29	うつ状態 ^{注2}	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
30	暴行が毎日みられる状態	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()

<医療区分2> 医療処置

31	透析	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
32	発熱または嘔吐を伴う場合の経管栄養（経鼻・胃瘻等）	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
33	喀痰吸引（1日8日以上）	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
34	気管切開・気管内挿管のケア	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
35	血糖チェック（1日3回以上の血糖チェックを7日間のうち2日以上実施）	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
36	皮膚の潰瘍のケア	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
37	手術創のケア	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
38	創傷処置	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()
39	足のケア（開放創、蜂巣炎・膿等の感染症）	1. 項目として適当でない () 2. 条件・表現が適当でない ()

注1)「せん妄の兆候」は、以下の6項目のうち「この7日間は通常の状態と異なる」に該当する項目が1つ以上ある場合とした。a. 注意がそらされやすい/b. 周囲の環境に関する認識が変化する/c. 支離滅裂な会話が時々ある/d. 落ち着がない/e. 無気力/f. 認知能力が1日の中で変動する

注2)「うつ状態」は、以下の7項目の回答点数（1点：3日間のうち1・2日観察された/2点：3日間のうち毎日観察された）の合計が4点以上の場合とした。a. 否定的な言葉を言った/b. 自分や他者に対する継続した怒り/c. 現実には起こりそうもないことに対する恐れを表現した/d. 健康上の不満を繰り返した/e. たびたび不安、心配ごとを訴えた/f. 悲しみ、苦悩、心配した表情/g. 何回も泣いたり涙もろい

- (2) 患者分類の「医療区分」の項目として追加すべき病態、処置等、若しくは項目の組み合わせがあれば、下欄に記入してください。その際、同時に配布している「患者特性調査票」の設問番号を必ず付記してください。

【医療区分3に追加すべき項目】

設問番号	病態、処置等

【医療区分2に追加すべき項目】

設問番号	病態、処置等

3. 医療区分・ADL区分評価票について

医療区分・ADL区分評価票について、下記の項目に回答ください。

- (1) 医療区分・ADL区分評価票の記入者（医師および看護師）の作業上の負担感と、患者の状態像の評価記録の必要性を考慮して、評価票の記入頻度が最も妥当と考えられるものはどれですか。下記の中から一つに○をつけてください。

1. 評価票の記録の頻度は、毎日でよい。
2. 評価票の記録の頻度は、2・3日に1度でよい。
3. 評価票の記録の頻度は、1週間に1度でよい。
4. 評価票の記録の頻度は、2週間に1度程度でよい。
5. 評価票の記録の頻度は、1ヶ月に1度でよい。
6. 評価票の記録の頻度は、入退院時および患者の状態が変化したときのみでよい。
7. なんともいえない。
8. その他（）

- (2) 医療区分・ADL区分評価票の改善点について（自由記述）

4. 医療療養病床の役割について

貴施設では、下記のような患者のうち、本来どのような状態にある患者が療養病床への入院対象としてふさわしいと考えますか。医療療養病床の役割を踏まえ、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 急性期一般病棟での治療後の受け皿を必要としている患者
2. 在宅での療養が一時的に困難になった際の受け皿を必要としている患者
3. 介護保険施設での療養が一時的に困難になった際の受け皿を必要としている患者
4. 積極的なリハビリテーションが必要な患者
5. 維持期のリハビリテーションが必要な患者
6. 終末期ケアを要する患者
7. 重度の意識障害を有する患者
8. 重度の認知機能障害を有する患者
9. 経口摂取が困難な患者
10. その他（自由記述）

5. 包括評価分類の導入に伴う貴施設における対応

(1) 患者ケアに対する対応：下記のうち、該当する項目すべてに○をつけてください。

1. 療養病棟の機能を明確化し、入退院する基準を見直した。
2. 患者特性の把握および記録をより綿密に行うようになった。
3. 患者特性に対応したケアを行うことがより容易になった。
4. 職員の負担が増え、ケアの質が低下した。

(2) 医師に対する対応：下記のうち、該当する項目すべてに○をつけてください。

1. 医師の数を増やした。
2. 医師の一人当たりの勤務時間（当直等を含む）が増えた。
3. 医師のオンコール体制を拡充した。
4. 医療ニーズにより適切に対応できる医師を新たに採用した。

(3) 看護職員に対する対応：下記のうち、該当する項目すべてに○をつけてください。

1. 看護師・准看護師の数を増やした。
2. 看護補助職の数を増やした。
3. 看護職員の一人当たりの勤務時間が増えた。
4. 医療ニーズにより適切に対応できる看護職員を新たに採用した。
5. 患者特性の把握、区分構成のモニター等のために専属の看護師を配置した。

(4) 事務職員に対する対応：下記のうち、該当する項目すべてに○をつけてください。

1. 事務職員を増やした。
2. 事務職員の一人当たりの勤務時間が増えた。

(5) 医療・介護連携に対する対応：下記のうち、該当する項目すべてに○をつけてください。

1. 急性期病院からの重症な患者の受け入れが容易になった。
2. 療養病床の役割に対する地域の他の機関の理解が高まった。
3. 急性期病院から、安易に気管切開等の処置を行った患者が増えた。
4. 急性期病院から軽症な患者を受け入れることが難しくなった。
5. 介護老人保健施設等の施設への退院が難しくなった。
6. 特定施設等への退院が難しくなった。
7. 在宅への退院が難しくなった。

6. 療養病床の転換意向について

貴施設がお持ちの療養病床（介護保険適用病床も含む）に関して、現時点での転換予定（転換先、病床数、転換予定年度）を記入してください。その際、平成 23 年度までの経過的な転換予定も含めて記入してください。（なお、記載された内容は本調査の目的に限られ、今後の予定を一切拘束するものではありません）

転換先		病床数	転換予定年度	
医療保険	1 医療療養病床（病院又は診療所）	床	平成	年度
	2 （再掲）介護保険移行準備病棟	床	平成	年度
	3 一般病床	床	平成	年度
	4 （再掲）回復期リハビリテーション病棟	床	平成	年度
	5 （再掲）亜急性期病棟	床	平成	年度
	6 （再掲）特殊疾患療養病棟	床	平成	年度
	7 （再掲）障害者施設等入院基本料を算定する病棟	床	平成	年度
	8 精神病床	床	平成	年度
	9 （再掲）特殊疾患療養病棟	床	平成	年度
	10 （再掲）老人性認知症疾患治療病棟	床	平成	年度
	11 診療所（無床）	床	平成	年度
介護保険	12 介護療養病床（病院又は診療所）	床	平成	年度
	13 （再掲）経過型介護療養病棟	床	平成	年度
	14 老人性認知症疾患療養病床	床	平成	年度
	15 介護老人保健施設	床	平成	年度
	16 介護老人福祉施設	床	平成	年度
	17 有料老人ホーム	床	平成	年度
	18 軽費老人ホーム（ケアハウス）	床	平成	年度
	19 グループホーム	床	平成	年度
その他	20 廃止	床	平成	年度
	21 その他（ ）	床	平成	年度